

# SOAI

## 相愛ファミリア

相愛大学 [www.soai.ac.jp](http://www.soai.ac.jp)  
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1 TEL.06-6612-5900  
相愛高等学校・相愛中学校 [www.soai.ed.jp](http://www.soai.ed.jp)  
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23 TEL.06-6262-0621

2009 No. 16

# familiar

- ② 音楽生かしたタレントに
- ④ ピアノと“百歳共演”
- ⑭ 全日本学生テニスで優勝



102歳・相愛大学名誉教授・声楽家

嘉納愛子

もっと高く、より遠く――

夢は未来へ



2007年度音楽学部卒業生・タレント

斉藤雪乃





● Profile  
 斉藤雪乃(さいとう・ゆきの)  
 1985年12月29日生まれ。吹田市出身。04~08年は「リーグ、ガンバ大阪のチアリーダー」としても活動した。「上方演芸ホール」(NHK)、「ルソンの壺」(同)などに出演中。

# 音楽生かし タレントで飛躍

斉藤雪乃さん(音楽学部卒業生)

NHKテレビ「上方演芸ホール」の司会などテレビやラジオで活躍をしているタレントの斉藤雪乃さん(23歳)。中学から相愛学園で学び、高校、大学は音楽学部で声楽を専攻していた“相愛人”だ。昨年3月に卒業した彼女が、久しぶりにキャンパスを訪問。友人との再会や南港講堂などを巡って学生時代を振り返り、これからの飛躍を誓った。

## 密度の濃い付き合いができた

「こんなに緑がいっぱいあって、広がったんだ」。斉藤さんは改めてこの学校の空気を満喫、懐かしいあのころの記憶がよみがえってきた。

幼いころからピアノを習っていた彼女は相愛中学で音楽講座(当時)を、高校と大学は声楽を専攻して、音楽の道を歩んでいった。「最初は家の中でも練習するのが恥ずかしいくらい声が出なくて……。そんななかほそい声が強くなっていくと、人前でなにかを表現したいという気持ちがだんだんと強くなっていきました」。



同級生の大附さん(左)と

高校時代は3年間、同じメンバーで練習を重ねた合唱が忘れられない思い出。「みんな個性があってまとまりづらかったのが、授業が始まる前に集まって練習したりして結束が強くなっていきました。唱歌『ふるさと』を歌う時はみんな泣いていましたね」。

現在は大学の声楽合同研究室助手をつとめる大附恵美さんもそのメンバーの1人。「誰かがピアノを弾くと、それに合わせてみんなが歌い出し、授業中でも1人の鼻歌が大合唱になるように、私たちの周りにはずっと音楽が流れていました」と大附さん。今も仲間が集まると、自然に合唱が始まるという。そんな相愛での充実した10年間で、斉藤さんは「学校の雰囲気良くて、みんな顔を知っていて密度の濃い付き合いができました」と振り返る。

## 失敗してもやりたいことを

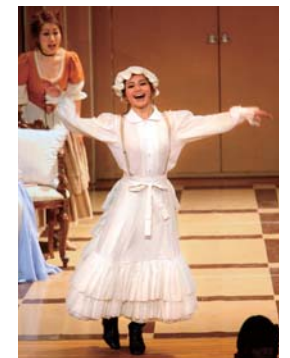
大学では、卒業演奏会で歌曲「霧と話した」を独唱、オペラ試演会「フィガロの結婚」では「ケルビーノのアリア」を歌い上げたのも鮮明に覚えている。学生生活の中で何度かあった発表会、それを積み重ねるうちに、「多くの人の前で表現をしたい」という思いがいつそうわき上がってきた。就職活動の時期になり、「音楽を教える道を選ぼうか」と迷ったこともあったが……。

彼女が選んだのは「失敗するかもしれないけれど、今しかできないことをする」という道。中学2年生までNHK大阪放送児童劇団にいたこともあり、「音楽を生かした芸能活動」に方向を定め、芸能事務所に所属することにした。そんな自分の経験から、「やりたいことが出来ない状況であっても、願ひ続ければいつかはかなうと思います」と後輩たちにエールをおくる。

## 「鉄子」が仕事にも

現在は、「上方演芸ホール」のアシスタントとしてレギュラー出演。司会の桂米團治さんから「歌ってみて?」と言われて自慢のノドを披露することもある。「そんな時、声楽をやっているとよかったなと思います。それにお客さんがいっぱい入っていても、南港講堂に立ったのを思い出して、少しは舞台度胸がつかえました」とほほえむ。趣味は鉄道で、いま注目の“鉄子ちゃん”。「今年の夏は1人で青春18きっぷを使って12時間半かけて博多へ行って、そこから山口や島根などを2泊3日で回ってきました」。趣味にとどまらず、最近はラジオや新聞・雑誌での旅のレポーターの仕事も増えてきた。

夢は相愛で学んだことを生かし、舞台上で表現すること。「ミュージカルなどにも挑戦したい」という。そのために関西だけでなく東京でもオーディションを受け、チャンスを自分の手でつかみ取ろうとしている。「夢は必ずかなう」。相愛を“出発点”に、彼女はゴールに向かって突き進んでいる。



学生時代はオペラ試演会にも出演





「おしゃれは  
生きる力です」



納さんはそれから13年間、歌とは無縁の生活を送った。最愛の子を亡くしたある日、神戸・御影の浜に一人で立った。「辛抱たまらなくなって真っ暗な海に向かって、思っきり叫びました」。歌への思いがつのり、相愛に音楽学部初代学部長として招かれた山田のもと、学生を指導することになった。

「歌曲は話をするように歌い、朗読は歌うように。大観衆に聴かせるのではなく、観客の中にハンサムな人を一人見つけてその人に語りかけなさい」という恩師・山田の言葉。そして、彼が「歌曲の中で一番難しい」と言っていた「からたちの花」だけを3カ月練習し続けた若いころを今も思い出す。そんな嘉納さんは、「才能のある人を集めて、そのいい素材を成熟させていく。そういう環境づくりをしてくれたらいいなと思っています」と大学へ熱い期待を寄せている。



レッスンを受ける音楽学部卒業生、斎藤智美さん

健康の秘訣は「歌と食べ物とおしゃれ」。

いまま毎日15分はボイストレーニングを続け、ときには1時間に及ぶことも。「それぞれの年齢の声、歌があるのです」と伸びやかで、味わいのある声をキープしている。食事のときにはのどのために良い、しょうが、ゆずジャムや番茶を欠かさない。

さらに、「人様に不愉快な目をさせないように努力をしないとイケません。おしゃれは生きる力ですよ」ときっぱり。眼鏡の奥にやさしいまなざし、美しく波打つシルバーグレーの髪が輝いている。

## 歌への情熱いまなお

### 102歳現役、嘉納愛子名誉教授に聞く

「歌は心の叫び、心の訴えです」

おだやかな語り口で、きっぱりとこう話す嘉納愛子さん(音楽学部名誉教授)は1907(明治40)年1月1日の生まれ。もうすぐ103歳になる現役の声楽家だ。

作曲家・山田耕筰氏に師事して歌手とし

て活躍。戦後は後進に声楽を指導し続けている。49(昭和24)年には相愛女子専門学校(当時)音楽科の講師になり、教授に就任。長年にわたって我が校の音楽教育に力を注いできた。

灘の酒造家と34(昭和9)年に結婚した嘉

## ドイツ製ピアノと“百歳共演”

7月9日、大阪市立愛珠幼稚園(中央区)で嘉納名誉教授がミニコンサートを行いました。同幼稚園は1880(明治13)年創立で大阪の幼稚園では最も歴史があり、コンサートでは1909(明治42)年に同園が購入したドイツ・イルムラー社製のピアノを使用されました。

嘉納名誉教授は「からたちの花」(作詞・北原白秋、作曲・山田耕筰)を熱唱。ともに1世紀を超える時を送ってきた異色のコラボレーションが実現しました。







## 相愛 オーケストラ 「交響讃歌《親鸞》」

### 初の御影堂コンサート

約200年ぶりの大修復が終わったばかりの西本願寺御影堂(京都市下京区)で9月20日、相愛オーケストラによる「御堂演奏会」があり、大谷光真門主や参拝の門侶ら約700人が、学園創立120周年記念特別委嘱作品「交響讃歌《親鸞》」などの荘厳な調べに聴き入った。

演奏会は当初、御影堂平成大修復落慶法要に合わせて開かれる予定だったが、新型インフルエンザ流行の影響で一度中止となり、2011(平成23)年の「親鸞聖人750回大遠忌法要」の記念として献奏された=写真・毎日新聞社提供。

当日は、100人編成のオーケストラに22人

の女声合唱団が加わり、酒井睦雄氏(音楽学部教授)が指揮。まず、エルガー作曲「威風堂々」が格調高く演奏され、続いて大前哲氏(音楽学部教授)が作曲、昨年10月初演の「交響讃歌《親鸞》」が、御影堂親鸞聖人御真影の御前で披露された。

「交響讃歌《親鸞》」は、「道程」「讃歌」「光明」の3章から成り、「道程」は、聖人の越後流罪から始まる伝道の足跡をさまざまな楽器でたどり、「讃歌」では歌人・西本願寺第21代宗主明如上人(本学園創立者)の次女・九條武子さまの「心の合掌」(歌文集「無憂華」巻頭の歌)が、女声コーラスで美しく歌い上げられた。

演奏会を終えて

● コンサートミストレス  
4回生・高須友利恵



この度、世界遺産である西本願寺の御影堂で「交響讃歌《親鸞》」を演奏でき、とても光栄に思います。御影堂においてオーケストラ演奏が創建以来初だったと知ったのは、演奏後でした。御前での演奏を親鸞聖人にも楽しんでいただけましたでしょうか？ これからもこの作品は相愛オーケストラによって、さらに重ねて演奏され、磨かれていきます。どうぞ皆様お見守りください。



### 崇徳学園グリークラブと広島公演

10月9日、台風一過の青空の下、広島市中区のアルソックホールで学生たちが一心に奏でるモーツァルト、チャイコフスキー、そして大前哲(音楽学部教授)作曲の「交響讃歌《親鸞》」が響きわたり、聴衆から温かい拍手をいただきました。

前日の8日は台風18号の影響で予定より3時間遅れて出発し、広島には夕方に無事到着。現地の主催側の方々の歓待を受けました。実現にご尽力いただいた出口湛龍理事長、高橋乗宣学長、現地でお世話になりました能美直哉氏、高山正氏、猪原龍吉氏、小島克正氏をはじめ関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。(相愛オーケストラ委員長・中谷満)



# 「産官学でつくりあう食育」

## 人間発達研究所主催シンポジウム

### 楽しく、ためになる食育を



相愛大学人間発達研究所主催のシンポジウム「産官学でつくりあう食育」が9月26日南港ホールで開催されました。参加者は約350人にのぼり、「産官学で食育を推進していこう」という熱気あふれる雰囲気の中でプログラムが進められました。

基調講演は「産官学連携による『楽しく・ためになる』食育とは」と題して、女子栄養大学の武見ゆかり教授に登壇していただきました=写真上。

子どもから大人まで、今なぜ食育が必要なのかについて①食生活の問題が拡大、深刻化しており、その結果として身体やこ

ろの問題が大きくなっている②生活習慣病が増加し、医療費の増大につながり、社会の負担となっている③食生活は地域とのつながりで営まれるものであり、地域社会のあり方とも関連しあっている——などの事例を述べられました。続いて、産官学が連携した取り組み事例として、小学校を中心とした食育プログラム開発を行った「坂戸市小・中学校食育プロジェクト」、食事バランスガイドを活用した栄養教育プログラムを開発・実施し、その効果を検証した「事業所におけるバランス弁当喫食体験プロジェクト」の取り組みが紹介されました。さらに、個人の行動変容を支援する食環境づくりが重要であり、そのため

に産官学の連携が必須であることを指摘。目的・目標を明確にし、地域の中で産官学が連携し、楽しく、ためになる食育を推進していくことが重要であると結論づけられました。

続いて、「産官学が連携した食育の実践」をテーマにシンポジウムを行いました=写真下。カゴメ(株)東京本社・大谷泰正課長が



### 「心育」「食育」を推進、研究します



人間発達研究所長・人間発達学部教授  
塩見邦雄

人間発達研究所は、人間発達学およびその隣接領域に関する学術研究や実践活動を推進し、教育の向上や子どもたちの心身の発達支援に資するとともに、学術文化の発展に寄与することを目的として2008年4月に設立されました。長い歴史と伝統を持つ相愛大学の中では一番若い組織です。研究所の活動は具体的に「保育や教育による心育」と「食物や栄養からの食育」による「心と身体の発達」を中心に、人の健全な心身の発達の推進を研究していきます。昨年度は11月2日に「今始まった特別支援教育

の課題」のタイトルで東京学芸大学教授の上野一彦先生に発達障害に関わる問題を講演していただきました。

本年度は9月26日に女子栄養大学の武見ゆかり教授の基調講演の後「産官学でつくりあう食育」のシンポジウムを開催。参加者は約350人にのぼり、産官学(産業界、地域社会、大学)連携して食育を推進していこうという熱気あふれる雰囲気の中で行われました。今後の活動は、心育と食育を中心軸にして子ども発達学科と発達栄養学科の教育と諸活動のもと、大学の研究所として人間発達研究に貢献し「人間発達学研究」という研究紀要の刊行、また「子育てや教育」や「食育」に関わって「地域支援」を推し進める研究所として進んでいきたいと考えています。人間発達研究所の活動が、相愛大学の知名度をさらに広めることができれば大変うれしいことです。

産官学で協働した『健康おおさか21・食育推進企業団』の創設とその活動」、大阪府食生活改善連絡協議会・北村壽子会長が「ボランティアの立場からの食育活動」、大阪府立健康科学センター健康度測定部・木山昌彦部長が「生活習慣病の予防と食育の推進」、丸谷宣子氏(人間発達学部教授)が「大学から発信する産官学連携の実践事例と教育効果」と題して報告。

報告を受けて、会場の大学生からは「自分の大学でも産官学が連携した取り組みを行ってみたい」との意見が出されました。そして最後に、コーディネーターの武見教授が、「もう一度何のための食育が明確にしながら、産官学が連携した食育を進めていきましょう」とこの日のシンポジウムを総括されました。(人間発達研究所運営委員)

※本学は、スーパーズミヤ「愛情お弁当コンテスト」、食育推進キャンペーンなど産官学が連携したエクステンション事業を幅広く実施しています。

### 人間発達学部・参加学生の声



●3年生・山本智貴さん  
「世界各国で食育を」

肥満児の増加や高齢者への食事の配慮などを考えれば、世界各国で食育をすべきだと感じました。ニューヨークのカフェでのカロリー表示やポーションサイズの見直しなど、一部地域での実践には感銘を受けました。国内では児童生徒と日常の中で接している先生が研修会を行い、授業を行うといった流れを作ることが大切だと感じました。



●2年生・生田愛紗さん  
「何かを変える」が大切

一人の食が変化するには、コミュニティー全体が変化する必要があります。産官学の連携が必要だと思います。食育として「何をやる」ではなく、「何かを変えていく」という気持ちが大切であり、私たちは、それを忘れてはいけないことを学びました。学生生活で培ってきたさまざまな経験を活かし、人と人とのつながりを大切にできる管理栄養士になりたいと思いました。

## 商品化の可能性も審査

### 「大阪産こだわりお弁当コンテスト」に本学学生2組が入賞

大阪府では、府内農林水産物の消費拡大等を目的として、府内で生産された農林水産物等を「大阪産(もん)」と位置づけ、普及推進中です。その一環として、(株)サークルKサンクスと大阪府の共催、相愛大学等の協力により、府内管理栄養士養成校10校の学生を対象に「大阪産こだわりお弁当コンテスト」が行われました。応募総数67作品。その中から下記の本学学生2組が賞を頂きました。

〈サークルKサンクス賞〉	〈特別賞〉
<p>チーム名：大阪 Lover 発達栄養学科 2回生・大林朋子さん 4回生・鎮守美由紀さん 作品名：メイドイン大阪</p>	<p>チーム名：田中亭 発達栄養学科 2回生・田中康博さん 4回生・田中美帆さん 作品名：まるごと大阪 ベジ冬ブル弁当</p>

1次審査(書類)を通過した10作品について、10月4日に本学で2次審査(試食)が行われ5作品が選出されました。大阪産食材の使い方、見栄え、おいしさ、栄養バランス、商品化の可能性など、学生が作ったお弁当を審査員が試食しながら採点、どの作品もこだわりがいっぱいだったお弁当で、審査は長時間にわたりました。

表彰式は10月11日、「御堂筋kappo2009」の会場で、橋下徹・大阪府知事、大阪あべの辻調理師専門学校の畑耕一郎理事、サークルKサンクス代表取締役の中村元彦氏により行われ、上位5作品が受賞しました。

式後の講評で橋下知事は「知事になるまで大阪でこんなに野菜がとれるとは知らなかった」とコメント。このコンテストをきっかけに、同様の考えを学生も抱いたようで、大阪産を知るよい機会となりました。

## 地域につながる実学の場

### 支持広がりリピーター多数

#### 子育て支援講座

2006年度の子ども発達学科開設当初から南港学舎で始まった本講座は、地域の子育て中のお父さんやお母さん、子どもたちを対象として1年に6回開催されています。今年度で4年目となりますが、熱い支持を得てリピーターも多く、毎回、好評を博しています。11月14日の第5回講座では、音楽学部音楽療法専攻の学生たちが「音で遊ぼう」をテーマに、楽器演奏や歌紙芝居などで子どもたちを楽しませてくれました=写真。



この講座では子ども発達学科の学生たちが毎回ボランティアとして参加しています。絵本の読み聞かせや手遊びの内容を自分たちで計画し、継続的に親子と触れ合うことで保育や子育て支援の実学の場ともなっています。学内で行われるこのような取り組みを通して、今後も大学と地域がより一層深くつながっていくことを願っております。なお、講座への参加は事前に申し込みが必要です。



# 大学活性化に向け 任は重い



留学生センター長  
人文学部教授  
孫久富

日本晁衡辞帝都 征帆一片遶蓬壺  
明月不歸沈碧海 白雲愁色滿蒼梧

日本の晁衡帝都を辞し 征帆一片遶蓬壺を遶る  
明月帰らず碧海に沈み 白雲愁色蒼梧に満つ

帰国の途中に台風で安南(今のベトナム付近)に流された阿倍仲麻呂を追悼する李白の詩である。約1300年前、日本から多くの留学生や学問僧が大陸の先進文明を学ぶために、はるばる海を渡って唐の都・長安へやってきた。阿倍仲麻呂はその一人である。抜群の才能と語学力に加え、すぐれた国際感覚を持つ仲麻呂は数年後に、海の彼岸にて国家図書館の副館長に登用される。後人の我々は彼の想像に絶する努力と唐王朝の雄大な胸襟に思わず脱帽する。

21世紀の今日、人類社会はボーダレスとグローバル化時代に突入。共に栄えていくのが世の流れで、国際社会に通用する人材を育成するのが大学の役目である。留学生の派遣と受け入れは、まさしく国際化社会実現の重要な一環である。

遅ればせながら相愛大学も、さまざまな険難を乗り越えて、この2年間で100人近くの留学生を中国の国立大学から迎えてきた。幸い、留学生諸君のすぐれた資質とたゆまぬ努力によって大学の活性化が図られ、教室の雰囲気も一変し、その評判も上々である。おかげでセンターの仕事もようやく軌道に乗りはじめている。

留学生によりよい勉学環境をつくり、彼らを世界平和と文化交流の懸け橋に育てるのが我々の役目である。任は重く道は遠し。今後とも各部門のご協力を切に願いたい。



山本教授(左端)と歓談する莫さん(右端)と李さん

## 中国人留学生 2人に聞く

中国からの留学生が、初めて相愛大学へ編入して2年近くが過ぎた。日本の生活に慣れた2人の留学生(4回生)とゼミの担当でもある山本幸男教授(人文学部日本文化学科)が語り合った。

**山本教授** 李春英さんは東北大学外国語学院、莫曦鶴さんは東北師範大学人文学部から編入してきて、私のゼミに入ったのですが、2人の能力の高さには驚きました。

**李** 中学から日本語を勉強して、日本で生活したいと思っていました。不安だったけれど、先生や周りの人もやさしくて親切です。

**莫** どんな店に行っても店員さんがいつもさわやかな笑顔なのに驚きました(笑)。

**山本教授** 4回生のゼミは17人でそのうち6人が留学生。なぜ漢文や古文を読まされるのか? と思っているかもしれないけれど、ルーツをたどれば中国に行くわけで、そう考えたら身近に感じるだろうし、今後の日中関係でも貢献してもらえたら、と期待しています。

**李** 古代史の勉強は初めてで最初は難しかったけれど、だんだん楽しくなってきました。

# 将来へ広がる夢、 相互理解深め、

**莫** 中国にいた時にインターネットで日本の大河ドラマを見ていて、時代劇には興味がありました。私もだんだん古代史が好きになってきました。

**山本教授** 予備知識をもっていたので、日本の学生と違和感なく入っていったんですね。友達はできましたか?

**莫** はい、甲子園球場で阪神の応援をしたり、「嵐」のコンサートにも行きました。

**李** 友達と奈良や神戸などに行きました。

**山本教授** 本学では「留学生を管理、支援する場」として留学生センターを設けていますが。

**李** 引っ越しの住所変更のことなど、詳しく教えてもらいました。

**莫** 卓球台があってみんなと楽しんでいます。

**山本教授** 進路はどうするのですか?

**李** 大学院で日本語教育を勉強して、中国に帰って日本語を教えたいと思っています。

**莫** 私は大学院で経営学を勉強して、山本先生みたいな学者になりたいです。

**山本教授** マスメディアを通しての情報ではなく、日本に来て理解できたことがたくさんあると思います。それを将来に生かしてほしいですね。

## 相愛大学 公開講座の ご案内

テーマ: 「比較文化を語る」

本年度も、恒例の公開講座を下記の通り開催いたします。メインテーマは「比較文化を語る」です。それぞれの専門領域の講師が、専門領域の「文化」について、比較を通して語ります。比較することによって浮かび上がる「文化」の醍醐味が味わえるべく企画しました。多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、入場は無料です。当日、定員になり次第締め切らせていただきます。

- 2010年  
2月 6日(土) 文化の受容と変貌  
——月の伝説・詩・歌を中心に——  
●本学教授 孫久富
- 20日(土) 三国(印度・中国・日本)に亘る  
浄土真宗の展開  
●本学教授 紅根英顕
- 27日(土) 身体としての国家をめぐって  
——明治国家思想のひとコマ——  
●本学准教授 嘉戸一将
- 3月 6日(土) ことばの違いから文化を読む  
●本学教授 木下有子
- 13日(土) 宗教儀礼論の再考  
——比較文化の観点から——  
●本学准教授 小野真

●場 所: 相愛大学南港学舎R401教室  
(ニュートラム「ポートタウン東」駅から徒歩約3分)  
●時 間: 午後2~4時  
●主 催: 相愛大学人文科学研究所  
【問い合わせ先】  
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4-4-1  
相愛大学教務課 TEL 06-6612-5900(代表)

入場  
無料

## ▶ 大学祭 & 文化祭

### 「南港キャンパスにあふれた笑顔 —Blue Ocean Festival「笑愛祭」—

今年度の大学祭「笑愛祭」にご協力、ご来場いただきましてありがとうございました。10月24、25日の期間中、南港キャンパスには、前年度を上回る大勢の来場者にお集まりいただき、盛り上がりは昨年以上だったように思います。

また、今年は「笑愛祭」の名前にちなんで参加していただいた方全員に笑顔になってもらいたいという実行委員の思いから2日間に分けてお笑い芸人を3組ずつ呼び、屋外ステージでお笑いライブを行いました。また実行委員企画では、昨年の内容とは全く違うお笑い芸人の司会による特技自慢大会や恒例のMr&Msコンテスト、また昨年実施した出店模擬店の中の1位を決める模擬店

コンテスト、子どもから大人まで楽しめるスタンプラリーなどのさまざまなイベントを企画し、大学祭をより楽しんでいただく工夫しました。

期間中は大学の敷地内にたくさんの笑顔があふれ実行委員会のメンバー全員が大きな達成感を持つことができました。今後は反省会等を行い、来年へとつなげていきたいと思っています。皆様のご協力なしには成り立たない大学祭ですので、これからもよろしく願い致します。(大学祭実行委員長・高田詩野)



### 「秋晴れの下「元気出せよ!」 インフルに負けず乙女祭

秋晴れの10月4日、「元気出せよ!」をテーマに相愛中学・高校の文化祭、乙女祭が生徒会主催で開催されました。新型インフルエンザの問題があり、実施が危ぶまれていましたが、3日の前夜祭とともに盛り上がりのあるものになりました。

一年をこの日のためにかけてきた多くの文化部の生徒たちの熱い思いは当然のこと、多くの生徒が待ち望んだ乙女祭です。インフルエンザ予防のため、ショッピングにも祭にも行かなかったという生徒の話に目が潤みました。結果として準備期間中も学園内にインフルエンザの大きな流行はなく、無事行うことができました。

テーマは、1年前のリーマンショックから続く世界不況で元気のない



大阪を元気にしなければ、と決めたものです。相愛生はインフルエンザにも打ち勝ち、見事な乙女祭を作り上げてくれました。いつもの笑顔の「相愛の乙女たち」に、将来強い女性になる胎動めいたものを感じたうれしい文化祭となりました。

(生徒会指導係・若生哲)





## 先生 ちょっと聞かせて

クラスやクラブでいつも顔は合わせていても、意外に知らない先生の素顔。保健体育科教諭でバスケットボール部顧問の足立加奈子教諭に、高校3年の安藤千珠さん、鈴木愛美さんが、ふだんは聞けない質問をぶつけてみました。

「中学の時からカッコいいなと思っていて、担任のクラスになってうれしかった」という鈴木さん。まずは「体育の先生になろうとしたきっかけ」を尋ねました。

「小学校のころ、黒板に向かう先生の後ろ姿が好きで先生になりたいと思いました。その時の先生がバスケットボールをやられていて、自分もやってみると『楽しいな』と思って。どうせやるなら全国大会まで行こうと思って、進学する高校を選びました」と足立教諭。大学時代はクラブのハードな練習と教員資格を取得する勉強を両立させました。「授業中は寝たらダメ(笑)。時間内に理解して、あとは集中して勉強すること」と2人にアドバイスされました。

安藤さんは足立教諭の指導のもと、中学から6年間バスケットボール部員として汗



足立教諭(右)に質問する鈴木さん(中央)と安藤さん

## 学校とコートで「つなぎ役」 足立加奈子教諭

を流してきました。「練習では厳しい時もあるけれど、部員たちのことを考えてくれて、尊敬する先生です」。そこで「先生の motto は?」と質問すると、「努力に限りなし、出来る出来ないにかかわらず努力を続けること」ときっぱり。それを聞いた2人は「簡単にあきらめないこと」(安藤さん)、「勉強や行事に積極的に取り組むこと」(鈴木さん)とそれぞれ課題を自分に言い聞かせた。

相愛学園に赴任して6年。2人は「相愛

生の良いところを教えてください」と聞いてみた。「みんな明るいところかな。先生と生徒も仲がいいけれど、友達感覚ではなくちゃんとけじめがつけられるのもいいところ。これが今後も続くように、私たちも頑張ります」と足立教諭。

ちょっと私生活にも迫ってみました。「趣味や休みの日はなにをされていますか?」。「2年前から始めたテニス。バスケットとはまた違う楽しさがあるね。それから映画を見たり、スーパー銭湯に行ったり」と足立教諭。「誰と?」(鈴木さん)と「追及」すると「一人。そのほうが気を遣わないから」と笑みを浮かべられました。

現在は大阪教員女子バスケットチームのキャプテンをつとめ、ガード(防御)とフォワード(攻撃)のバリエーションとして活躍する足立教諭。そのセンスを生かして、高校でも先生と生徒の良き橋渡し役になっています。

## 添乗員さん自信のコース

### 高校修学旅行(9月2~6日)

修学旅行に関するこぼれ話を二つ…。添乗して下さった旅行会社の方は、お盆休みに親孝行でレンタカーを借りて、相愛の行程と同じコースを旅行されたいらしい。別に下見の意味でなく、それだけ彼の自信のコースだということです。

簡単に紹介すると、初日は千歳空港から洞爺湖を眺めながら昭和新山・有珠山西山



火口を経て、ニセコへ。ニセコは連泊で、2日目午前はアイスクリームづくりなど、午後は尻別川でのラフティング。3日目は、小樽での自主研修後、札幌の白い恋人パークからジンギスカンの夕食後ホテルへ。4日目、ラベンダーで有名なファーム富田から、美瑛の丘、パッチワークの道を通り、旭山動物園へ。最終日、ノーザンホースパークで昼食をとり、千歳へ。といったものです。

もう一つ、往きの飛行機でのこと。一人の生徒の鼓膜が破れていることをキャビンアテンダントの方に伝えたところ、その生徒に対して丁寧に着陸時の対処法を教えた下り、機長さんは普段より大きく機を旋回させて、ゆるやかに高度を下げて着陸さ



せて下さいました。お心遣いありがとうございます。

さて、インフルエンザの不安との闘いだっただけの今回の修学旅行。全員無事で本当に良かったです。天候にも恵まれました。傘を開いたのは旭山動物園の入園時だけで、それもすぐにやみ、行程はすべて順調に、病人もなしでした。

本当に楽しい修学旅行でした。

(主任・細見美文)

## マリンスポーツも満喫

### 中学修学旅行

中学3年生の修学旅行は、5月7日から10日までの3泊4日。沖縄本島・宮古島へ行きました。新型インフルエンザが心配される中、全員自宅からマスクを着用して、関西国際空港へ集合。1日目は歴史などを事前に学習した沖縄本島のひめゆり資料館、平和祈念資料館などを見学しました。2日目は、美ら海水族館で美しく雄大な海の生き物たちの様子を鑑賞した後、那覇空港から宮古島へ移動し、マングローブを見学。



来間大橋を渡り、展望台からエメラルドグリーン色の海を眺望しました。

3日目は、宿舎から水着着用で張り切って出発し、インストラクターの指示に従ってビーチでマリンスポーツを満喫することができました。少し疲れた体をバスで癒して、地下ダム、宮古総合博物館を見学しました。最終日は、沖縄本島へ戻り首里城を見学、予定にはなかった福州園で写真を撮り、空路で帰途に就きました。病気やけがなく、たくさん体験ができ、素晴らしい思い出がつくれたと思います。

(主任・竹内真二)



昼下がりの御堂筋は、道行く人でいっぱい。物珍しそうに振りかえるサラリーマンも目立ちました。また、希望者を対象にした「御堂筋沿道の企業訪問」も行われ、参加者36人は12組に分かれて「御堂筋まちづくりネットワーク」に加盟する(株)竹中工務店、大阪ガス(株)、京阪神不動産(株)、あいおい損保(株)の4社を随時訪問しました。これは同ネットワーク主催の「御堂筋AUTUMN GALLERY2009」のイベントの

一つとなっています。

菊池はるかさんは、竹中工務店を訪ね、同社プロジェクト開発推進本部・大西正英課長代理は、同社の実績や「御堂筋まちづくりネットワーク」として、「将来、この御堂筋で働きたいと思えるような元気の街にしたいという願いのもと、活動を続けている」と生徒たちに説明しました。一ノ瀬愛さんは「会社の将来目指すものは何で

すか」と質問。「最良な作品(建物)を世に残す。それが会社の社会的責任を果たすということだと思います」と深みのある答えを引き出していました。

訪問を終えた小坂真優子さんは「受付の方の接し方が丁寧でとても安心しました。また、いろんな会社が協力しあって、一つの建物が出来ることを知りました」と話していました。

## 10回目の「着物であるく御堂筋」 企業訪問も積極的に



さわやかな秋晴れとなった11月4日、相愛高校3年生による恒例の「着物であるく御堂筋」が行われました。

秋の校外学習を兼ねたこの催しは記念すべき10回目。御堂筋のビジネス街を中心に、約140人が日本の伝統文化の象徴である着物に身を包み、散策しました。まず、京都和装産業振興財団に用意していただいた色とりどりの小紋に着付けの講師らの手助けで着替え、北御堂(本願寺津村別院)で記念撮影。生徒たちは思い思いに出発し、北は淀屋橋、南は難波神社あたりまで散策するグループもありました。



# 心に響く堂々の調べ

## 相愛オーケストラ 第52回定期演奏会



相愛大学音楽学部、相愛高校音楽科、相愛音楽教室の学生・生徒で編成する相愛オーケストラの第52回定期演奏会が10月14日、山下一史、小林恵子、酒井睦雄の各氏の指揮のもと、大阪市ザ・シンフォニーホールで開かれた。同オーケストラは1956年創立。50年以上の歴史を刻み、日本の音楽界に確固として地位を築いている。今回の演奏会でも堂々とまた心に響く演奏を披露し、聴衆から喝采を博した。演奏曲目は次のとおり。

- ラター／弦楽のための組曲
- モーツァルト／ディヴェルティメントニ長調K136
- ハチャトゥリアン／組曲「仮面舞踏会」
- チャイコフスキー／交響曲第5番小短調op64

# 東洋人初、大岡さんが1位

## タデウシュ・ヴロンスキ国際無伴奏バイオリンコンクール



今春、相愛大学音楽学部を卒業したばかりのバイオリニスト、大岡仁さん=写真=が、今年9月24日から30日までポーランド・ワルシャワのショパン音楽院で行われた第4回タデウシュ・ヴロンスキ国際無伴奏バイオリンのためのソナタより「コンヌ」他8曲などを演奏し、ロシアのイゴール・ピカイゼンさんと並んで堂々の第1位に輝いた。

現地ポーランドをはじめ、イタリア、フランス、ハンガリー、ロシアなどヨーロッパ各地からよりすぐりのソリストが集ま

た中、期間中3度の審査を勝ち抜き、東洋人として初めて栄冠を手にした。大岡さんは6歳の時にバイオリンを始め、小学生時代に相愛音楽教室で学び、相愛大学では特別奨学生として在籍。工藤千博、大谷玲子、小栗まち絵の各氏に師事した。

在学中に「ABCフレッシュコンサート」

に出演、大阪センチュリー響、関西フィル、大阪フィル等と協演、「咲くやこの花賞」「青山音楽新人賞」「音楽クリティック・クラブ奨励賞」を受賞するなど注目を集めた。

今年10月からドイツのニュルンベルグ大学へ留学中だ。大岡さんは「今回参加したコンクールは、去年の春に相愛大学120周年記念ヨーロッパ公演でオーケストラの一員として演奏した時と同じホールで行われました。オーケストラでは多くの仲間と一緒に舞台上立つことができましたが、このコンクールでは、すべてが無伴奏。たった一人で演奏しなければならず、とても緊張感がありました。しかし、ポーランドの聴衆はとても温かく、第1位をいただいた後も大勢の方に声をかけていただき、これまでに味わったことのない喜びを感じました。これまで支えてくださった方々に感謝し、この貴重な経験を生かしていきたいと思っています」と喜びを語った。

# 子どもたちもノリノリ

## 相愛音楽教室鑑賞演奏会 金管五重奏コンサート

1990年に始まった相愛音楽教室の毎秋の恒例行事「鑑賞演奏会」は、今年で20回目。講師にトランペット奏者の飯塚一朗氏(音楽学部教授)を招いて10月24日に本町学舎講堂で実施しました。飯塚氏から金管楽器についてのお話の後、相愛大学出身の川上貴史(トランペット)、瀧川美佳(ホルン)、池田修実(トロンボーン)、古口賢一(テューバ)の各氏らとの共演による金管五重奏の演奏をしました。

今回は学齡前、小・中学生対象の第1公演と高校生対象の第2公演の2部だて。第1公演では飯塚氏の楽しいお話と、ピカピカ光る金管楽器の輝かしい音楽に子どもたちはノリノリの様子でした。第2公演では高校生が金管楽器についての知識を深めながら、さまざまな音色を楽しみました。



### 相愛音楽教室2010年度春期入室生募集

- 2010年度春期入室試験
    - ・A日程 3月21日(祝)願書受付2月1日～3月10日
    - ・B日程 4月4日(日)願書受付2月1日～3月26日
  - 2010年度春期入室準備クラス 開講中 毎月受付
  - 相愛音楽教室通信教育<楽典> 随時受付
- 【お問合せ】  
TEL.06-6262-0621(内線400)  
http://www.soai.jp/onkyo

### ■コンクール入賞者■

#### 【高校音楽科】

- 第63回全日本学生音楽コンクール大阪大会
  - バイオリン部門第3位 松岡井菜(1年)
  - 入選 声楽部門 二上亜香音(3年)
  - バイオリン部門 柏山七海(3年)、比奈本茜(3年)、杉谷悠(2年)、中塚菜月(2年)
- 第11回関西弦楽コンクール
  - 優秀賞 審査員特別賞 中塚菜月(2年)Vn、松岡井菜(1年)Vn
  - 優秀賞 審査員賞 橋本愛歌(3年)Vc
  - 優秀賞 柏山七海(3年)Vn
  - 優良賞 比奈本香(1年)Vn
  - 奨励賞 上田哲子(1年)Vn
- 第22回和歌山音楽コンクール
  - ピアノ部門奨励賞 生田英奈(2年)
- 大阪国際音楽コンクールファイナル・ファイナル出場
  - 金管楽器部門 坂本有紀(3年)Hr
  - 木管楽器部門 浦川晴菜(3年)Fl
  - 弦楽器部門 比奈本茜(3年)Vn
- 第16回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会
  - 金管楽器部門入選 坂本有紀(3年)Hr
- 第17回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会
  - 木管楽器部門奨励賞 浦川晴菜(3年)Fl
- 第33回ピティナ・ピアノコンペティション
  - 西日本F級地区本選出場 赤堀すみれ(2年)、福井美佳(2年)
- 第7回ソナタコンサート
  - 高校生部門奨励賞 井川華(2年)Pf
- 第21回フリーゲル・ピアノコンチェルトフェスティバル
  - 夢コン 全国大会本選 優秀演奏賞・グローバリストフィルハーモニー賞 佐々木有紀(1年)
- 高槻音楽コンクールバイオリン部門
  - 高槻市教育委員会賞・最優秀賞 比奈本香(1年)
  - 最優秀賞 比奈本茜(3年)
- 第19回クラシック音楽コンクール地区本選会
  - 優秀賞 比奈本茜(3年)Vn
  - 好演賞 柏山七海(3年)Vn、中塚菜月(2年)Vn、比奈本香(1年)Vn
- 第15回熊楠の里音楽コンクール
  - 弦楽器部門バイオリンEクラス 2位 笠松弥矢(2年)

#### 【中学校】

- 第10回大阪国際音楽コンクール
  - アマチュア部門ジュニアコース 第4位 藤田玲美(1年)Hp
- 全国硬筆作品展
  - 大阪市長賞 松本ちはる(3年)
  - 日本書道芸術連盟協議会賞 田貝千秋(3年)
  - 日本書道教育連盟賞 長尾梨沙(3年)
  - 大阪府議会議長賞 石橋聖子(2年)
  - 大阪府PTA協議会賞 小林日向子(2年)、町田結唯(1年)、関根彩花(1年)
- 全日本芸術振興学会賞 池永碧羽(2年)
- 全日本青少年書道振興協会賞 中久保明日香(1年)

#### 【大学音楽学部】

- 第20回堺ピアノコンクール
  - F部門山田康子賞 田中さおり
- 第20回堺ピアノコンクール
  - 大学・一般の部銀賞 猪瀬千裕
- 第22回和歌山音楽コンクール
  - ピアノ部門大学以上の部第2位 上畑みさき
- 第19回日本クラシック音楽コンクール本選
  - 一般の部好演賞 中西純子
- 第36回日本ギターコンクール
  - 大学生部門銅賞 堀崎達史
  - オスール・ソロ部門第1位 井筒将太
- 第3回神戸新人音楽賞コンクール
  - 優秀賞 坂茉莉江Vn
- 第28回アゼリア推薦演奏会
  - 優秀賞 柳響麗Vn

#### 【音楽教室】

- 全日本学生音楽コンクール大阪大会バイオリン部門
  - 〈小学校の部〉
    - 3位 黒田小百合(小6)
    - 入選 小谷泉(小6)、芝内もゆる(小6)、久留早百合(小5)
  - 〈中学校の部〉
    - 1位 西川鞠子(中3)
    - 2位 大倉佳菜(中2)
    - 入選 内尾文香(中1)、中川茉莉花(中2)
  - 〈高校の部〉
    - 入選 山内麻莉(高2)





## 世界の舞台で活躍したい 全日本学生テニス選手権で優勝

高畑寿弥さん(人文学部社会デザイン学科2回生)



期間は長く、つらい期間でした。でも、この期間があったからこそ今の私があると、思っています。指導してもらったコーチには本当に感謝しています。今後はプロのサーキットを回って、世界を舞台に活動出来るような選手になりたい。それが私の目標です。

テニスを始めたきっかけは、「お父さんが持っていた『エースをねらえ!』というマンガを読んだことから」。意外な答えが返ってきたのが印象に残った。

8月に東京・有明テニスの森公園で開かれた「全日本学生テニス選手権2009」の女子シングルスで見事初優勝を果たした。決勝は早稲田大学の田中優季選手とのフルセットの熱戦。スコアは7-6、2-6、6-1。

長尾谷高校(大阪)時代も高校総体のダブルスで全国制覇を成し遂げているが、シングルのタイトル獲得は初めて。ケガや手術を乗り越えての快挙で、大会終了後、高畑さんは喜びを次のように話してくれた。

「お世話になった方や支えてくださったみなさんに感謝しています。自分のテニス環境が変わってすぐの大会だったので、教えてもらったことを一戦一戦に出きることを考えて試合に臨みました。優勝が決

まった瞬間は涙が出ました。

昨年1年間のさまざまなことや思いが、頭の中を走馬灯のように駆け巡りました。昨年6月に右手のケガで手術。1年間、バックハンドのプレーが出来ない状況に置かれました。思うようなプレーが出来ないことにイラ立ち、試合に出ても結果が出ないことに焦りました。精神的に追い込まれたのです。

そんな苦しい自分との闘いの中で『今もしテニスを続けることをあきらめたら自分自身納得できない。絶対に辛抱する。自分に出来ることを必死にやる』と心に決めました。そして、ケガが回復し始めたころからは死に物狂いで練習しました。この1

## 人気はやっぱりカレー 本町学舎食堂リニューアル

本町学舎の食堂が今年8月、厨房も一新され、リニューアルオープンしました。おいしく、安心・安全をモットーにすべて150円均一の日替わりメニューが加わり、多彩になりました。

食堂内は間接照明でカフェテラス様式となり、食器や椅子もカラフルに新調されました。お昼休みになると、今か今かと待ちわびた相愛中学・高校の生徒たちでカウンター前は長蛇の列ができます=写真。

人気はやはり「カレーライス」と「フライドポテト」。そして、デザートも人気です。パンやおむすびの自動販売機も新設され、生徒たちの笑顔あふれる食堂となりました。



## Sports & Cultural Activity

◆クラブ活動の記録◆	
相愛中学・高校	
■放送部	
NHK杯全国大会出場	長尾梨沙(中3-1)、平岡奈穂(中2-1)
■新体操部	
●大阪高校春季体育大会 団体優勝	菫田響(高2-5)、向原綺花(高3-5)、田中千晴(高3-3)、米口優美(高1-3)、天谷衣里(高3-4)
●大阪高校選手権 団体2位	菫田響、向原綺花、田中千晴、米口優美、天谷衣里
●近畿高等学校選手権大会 団体優勝	菫田響、向原綺花、田中千晴、米口優美、天谷衣里
●大阪府民体育大会	
ボール優勝	菫田響
フープ優勝	向原綺花
ロープ優勝	田中千晴
リボン優勝	米口優美、天谷衣里
■書道部	
●高円宮杯日本武道館書道大大会	
大会奨励賞	柿花有美(高2-1)、小山綾子(高2-3)
特選	押谷美帆(中2-2)
金賞	青山浩奈(中2-3)
銀賞	坂倉早紀子(中1-2)
■演劇部	
●E地区大会	
個人演技賞	都里佳(高3-4)
団体優秀賞	
■吹奏楽部	
第48回大阪府吹奏楽コンクール地区予選小編成の部	優秀賞

### ◆相愛学園イベントガイド◆ (2009年12月~2010年3月)

- 輝くソリストの集い  
12月12日(土)13:30~  
本学本町学舎講堂  
※入場無料
- 市民仏教講座  
12月12日(土)13:30~15:00  
本学南港学舎学生厚生館S307  
講師:紅樫英頭(本学教授・宗教部長)  
講題:「正信偈に学ぶ⑧」—曇鸞、道綽—  
※受講無料
- 人間発達学部公開講座(メタボダイエット教室)  
12月12日(土)14:00~16:30  
食事診断/健康診断の結果について  
講師:竹山育子(本学非常勤講師)  
体力測定、個別運動指導  
講師:保井智香子(本学非常勤講師)  
本学南港学舎  
※申込終了
- 第54回相愛音楽教室演奏会  
12月19日(土)15:00~  
本学本町学舎講堂  
※入場無料
- フルートオーケストラ演奏会  
12月19日(土)18:30~  
本学南港ホール  
※入場無料
- 金管アンサンブルフェスタ  
12月21日(月)18:30~  
本学南港ホール  
※入場無料

- 北御堂相愛コンサート  
12月24日(木)12:25~12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
出演:湯川夏子(声楽)  
※入場無料
- 成人の集い  
1月9日(土)15:00~  
本学南港ホール  
※本学在学対象
- 親鸞聖人御正忌法要/学園関係者物故者追悼法要  
1月15日(金)10:30~  
本学本町学舎講堂  
※本学関係者対象
- 北御堂相愛コンサート  
1月21日(木)12:25~12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
出演:西川千紘(バイオリン)  
※入場無料
- 市民仏教講座  
1月23日(土)13:30~15:00  
本学南港学舎学生厚生館S307  
講題:「正信偈に学ぶ⑨」—善導、源信—  
講師:紅樫英頭(本学教授・宗教部長)  
※受講無料
- 古楽器・アンサンブル演奏会  
1月26日(火)18:30~  
本学南港ホール  
※入場無料
- 人間発達学部公開講座「メタボダイエット教室」閉校式  
1月30日(土)14:00~16:30

- 本学南港学舎  
※申込終了
- 高3室内楽演奏会  
2月1日(月)15:40~  
本学本町学舎講堂  
※入場無料
- 相愛高等学校乙女コンサート 高校1年生の部  
2月6日(土)15:40~  
本学本町学舎講堂  
※入場無料
- 人文学部公開講座  
2月6日(土)14:00~16:00  
本学南港学舎R401教室  
テーマ「比較文化を語る」文化の受容と変貌  
一月の伝説・詩・歌を中心に—  
講師:孫久富(本学教授)  
※受講無料
- 市民仏教講座  
2月13日(土)13:30~15:00  
本学南港学舎学生厚生館S307  
講題:「正信偈に学ぶ⑩」—法然、結句—  
講師:紅樫英頭(本学教授・宗教部長)  
※受講無料
- 人文学部公開講座  
2月20日(土)14:00~16:00  
本学南港学舎R401教室  
テーマ「比較文化を語る」三国(印度・中国・日本)に亘る浄土真宗の展開  
講師:紅樫英頭(本学教授)  
※受講無料
- 相愛大学音楽専攻科修了演奏会  
2月20日(土)昼の部15:00~  
夜の部18:30~

- ザ・フェニックスホール  
出演:本学音楽専攻科修了生  
※入場無料
- 相愛高等学校卒業奉告本山参拝・帰敬式  
2月22日(月)時間未定  
西本願寺  
※本校高校3年生対象
- 北御堂相愛コンサート  
2月25日(木)12:25~12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
出演:岡田尚子(ピアノ)  
※入場無料
- 人文学部公開講座  
2月27日(土)14:00~16:00  
本学南港学舎R401教室  
テーマ「比較文化を語る」身体としての国家をめぐって—明治国家思想のひとコマ—  
講師:嘉戸一将(本学准教授)  
※受講無料
- 相愛高等学校卒業式  
2月27日(土)10:00~  
本学本町学舎講堂
- 相愛音楽教室スプリングコンサート  
2月28日(日)15:00~  
本学本町学舎講堂  
出演:音楽教室生  
※入場無料
- 第18回オペラ試演会  
「コシ・ファン・トゥッテ」  
2月28日(日)13:00~  
本学南港ホール  
指揮:船曳圭一郎、演出:岩田達宗

- 出演:相愛コシ・ファン・トゥッテオーケストラ  
※入場無料
- 人文学部公開講座  
3月6日(土)14:00~16:00  
本学南港学舎R401教室  
テーマ「比較文化を語る」ことばの違いから文化を読む  
講師:木下有子(本学教授)  
※受講無料
- 第53回相愛オーケストラ定期演奏会  
~選抜ソリストを迎えて~  
3月9日(火)18:30~  
いずみホール  
出演:円光寺雅彦・酒井睦雄(指揮)、相愛オーケストラ  
※入場料2000円
- 人文学部公開講座  
3月13日(土)14:00~16:00  
本学南港学舎R401教室  
テーマ「比較文化を語る」宗教儀礼論の再考—比較文化の観点から—  
講師:小野真(本学准教授)  
※受講無料
- 第11回相愛オーケストラC組D組発表演奏会  
3月13日(土)18:30~  
本学本町学舎講堂  
※入場無料
- 相愛ウィンドオーケストラ第3回ポップスコンサート  
3月15日(月)18:30~  
本学南港ホール  
指揮:若林義人

- 出演:相愛ウィンドオーケストラ  
※入場無料
- 相愛大学卒業式  
3月18日(木)13:30~  
本学南港ホール
- 相愛中学校卒業奉告参拝  
3月18日(木)時間未定  
本願寺津村別院
- 相愛中学校卒業式  
3月19日(金)10:00~  
本学本町学舎講堂
- 相愛大学卒業演奏会  
3月22日(月)13:30~  
本学南港ホール  
出演:音楽学部卒業生  
※入場無料
- 相愛高等学校音楽科卒業演奏会  
3月24日(水)13:30~  
本学本町学舎講堂  
出演:本校音楽科卒業生選抜者  
※入場無料
- 北御堂相愛コンサート  
3月25日(木)12:25~12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
出演:未定  
※入場無料
- 相愛大学卒業演奏会  
3月25日(木)18:00~  
いずみホール  
出演:音楽学部卒業生  
※入場無料



# BOOKS

●本学教員の近刊図書

## 『北一輝—国家と進化』

嘉戸一将著

独自の社会主義論、進化論、そして革命と改造…、その思想の根幹に焦点をあて、思索をめぐらせました。「国家」に可能性はあるのでしょうか。

●276円。講談社(2009年7月10日発行)。定価1500円(税別)。



## 『ナショナリズム論—入門』

大澤真幸・姜尚中編(嘉戸一将共著)

グローバル化が深化する一方、ナショナリズムが世界を席卷しています。ナショナリズムとは何か、なぜ今ナショナリズムか—、などの疑問に当代一流の論者が、理論的、歴史的、ワールドワイドにアプローチします。

●405円。有斐閣(2009年8月25日発行)。定価2200円(税別)。



## 『英語 vs. 日本人』

—日本人にとって英語とは何か—

森光(木下)有子・中島寛子著

過去、現在、未来のあなたにとって英語とは? 英語に関わる様々な分野から日本人は英語とどう付き合っていくべきかに迫ります。

●362円。開文社出版(2009年9月15日発行)。定価2400円(税別)。



## 『運動と免疫』

—からだをまもる運動のふしぎ—

大野秀樹・木崎節子編著

(運動と消化器と免疫：中村富予・石川秀樹著)

運動免疫学の決して満足すべき状態ではないわが国の現状を打破し、今後の研究の指針と企画された本です。

●420円。NAP(2009年9月20日発行)。定価3600円(税別)。



## 『個人化する社会と行政の変容』

—情報、コミュニケーションによるガバナンスの展開—

藤谷忠昭著

対立か、相補か。新たな公共空間の構築を目指して展開する住民と行政の動態を、社会理論とフィールドワークに基づき分析、検討しています。

●304円。東信堂(2009年5月10日発行)。定価3800円(税別)。



## 2010年度 入試日程

相愛大学入試日程			【追試験・振替試験日程】		
学部	種別	郵送出願受付期間(消印有効)	試験日	試験日	合否発表
音楽	一般A入試	1月 7日(木)～1月18日(月)	2月 2日(火)・2月 3日(水)	3月 9日(火)	3月11日(木)
	一般編入学後期試験		2月 2日(火)		
	音楽専攻科入試	2月12日(金)～2月25日(木)	3月 9日(火)	3月24日(水)	3月26日(金)
	一般B入試		3月24日(水)		
一般C入試	3月10日(水)～3月19日(金)	3月24日(水)	追試験を実施しない		
人文	一般A入試 (本学会場)	1月 7日(木)～1月18日(月)	1月23日(土)・1月24日(日)	2月19日(金)	2月25日(木)
	一般A入試 (地方入試会場)		1月23日(土)		
	社会人特別入試	2月 4日(木)～2月12日(金)	2月19日(金)	3月16日(火)	3月20日(土)
	一般編入学後期試験		3月16日(火)		
一般B入試	2月24日(水)～3月 8日(月)	3月16日(火)	3月24日(水)	3月26日(金)	
一般C入試	2月24日(水)～3月 8日(月)	3月16日(火)	追試験を実施しない		
人間発達	一般A入試 (本学会場)	1月 7日(木)～1月18日(月)	1月23日(土)・1月24日(日)	2月19日(金)	2月25日(木)
	一般A入試 (地方入試会場)		1月23日(土)		
	社会人特別入試	2月 4日(木)～2月12日(金)	2月19日(金)	3月16日(火)	3月20日(土)
	一般編入学試験		3月16日(火)		
一般B入試	2月24日(水)～3月 8日(月)	3月16日(火)	3月24日(水)	3月26日(金)	
ファミリー後期入試	2月 4日(木)～2月12日(金)	2月19日(金)	3月16日(火)	3月20日(土)	
一般C入試	2月24日(水)～3月 8日(月)	3月16日(火)	3月24日(水)	3月26日(金)	

●2010年度入試における新型インフルエンザに関する特別措置について  
 (1)年内実施の入学試験の受験生には、追試験日程を設定いたします。  
 (2)一般入試については、次回に実施日程のある入試に限り振替受験を認めます。  
 (3)人文学部・人間発達学部一般C入試は3月24日に追試験を設定いたします(音楽学部一般C入試は追試験を設定しません)。  
 ※いずれも診断書を提出していただき、正当と認められる方を対象といたします。

●お問い合わせ先  
 →相愛大学 入試課  
 電話 06-6612-5900  
 FAX 06-6612-6090

※センター試験利用入試の日程はお問い合わせください。なお、センター試験利用入試は、本学独自試験は実施しません。

### 2010年度 高校/中学入試日程

相愛高等学校		
普通科	1次入試	1.5次入試
受付	窓口受付	予定あり
出願期間	1月25日(月)～2月3日(水)	
試験日	2月10日(水)	
音楽科	1次入試	1.5次入試
受付	窓口受付	
出願期間	1月25日(月)～2月 3日(水)	
試験日	2月10日(水)、2月11日(木)	

相愛中学校		
	A日程	B日程
受付	窓口受付	窓口受付
出願期間	1月 8日(金)～1月14日(木)	1月 8日(金)～1月19日(火)
試験日	1月16日(土)	1月20日(水)

●お問い合わせ先→高中入試広報部  
 電話 06-6262-0621 FAX 06-6262-0534

### 編集後記

季節が移ろい、木立ちも枯色の葉を落とし始めました。冬の到来は淋しく、また厳しいものですが、やがて来たる春のために、じつと耐えつつ準備をしているのでしょうか。昨今は世界不況の嵐が吹き荒れ、少子化の厳しい

波も押し寄せています。

折りしも大学では数年ぶりに授業アンケートが行われ、集まったデータをもとにこれから分析が始まり、改善につなげようとしています。また自己点検の作業も進められ、より良い大学、良い学園を目指して進化していこうと、新たな胎動が始まっています。こういつ

た動きを象徴的に感じつつ、「見直す」ということは私自身にも課せられたひとつのキーワードだと思っています。

「ファミリア」も本号よりA4冊子版にリニューアルされ、新たなスタートを切りました。121年目からの相愛学園にあたたかな春が訪れますように。(斎藤)